



梅雨らしく雨の降る日もよいものです。水に潤う植物や野菜の苗を見ていても、水を貯めこむ池の雨模様を見ていても、命を育む予感と、真夏の暑さへの不思議な期待が心に浮かんできます。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◆八海山夢展

7月23日から毎年恒例となった八海山夢展を開催いたします。今年で17回目を迎えることができました。地元的美術家を中心に、絵画・書道・写真・水石・俳句・工芸の6部門からなり、約120人が出展します。八海山や魚沼の風景や人に関わる作品が多く、いろいろな分野で、魚沼の良さを再確認することができます。

また、関連イベントとして、「夢展 美のツボ」も開催します。各部門の実行委員が企画した、解説会や体験講座です。詳しい内容は、裏の展覧会情報や美術館のホームページにあります。陶芸教室や、マープリングと書



7月23日(土)から第17回八海山夢展が開催されます

池田記念美術館 イケブドふれあい通信

7月号

H28年 No.72

道を組み合わせたうち作りなど、お子さんでも楽しめる講座もあれば、八色の森公園の撮影会(初心者向け写真教室)や、句会もあります。夢展らしく、バラエティーに富んだ内容になりますので、ぜひお気軽にご参加ください。

(広田かおり)

◆両刃の剣

人間の体は呼吸することで酸素を各内臓器官に供給し、代謝や様々な生体活動を円滑に行っている。その中心がミトコンドリアで、人体が必要とする95%のエネルギーを酸素で造りだしているという。

その一方で、体に悪い影響をおよぼす最たるものが活性酸素という。それは酸化力で細胞や各人体組織に錆びをもたらし、老化や病気の原因になるといえる。簡略化して言うと、対の電子を持った酸素が、酸化し、電子が対になつていない状態で活性酸素となり、正常な細胞やタンパク質、脂質などから電子を奪ってしまう。健康番組でもおなじみだが、フリーラジカルと呼ばれる。ガンや動脈硬化も活性酸素が原因と言われる。もっとも活性酸素も元々は免疫機能の一部で、体の外部からの侵入物にたいして対抗したが、現代人は様々な汚染物質や酸化した脂質、ストレスなどによって、フリーラジカルを大量にため込んでいるらしい。

この活性酸素への対応次第で、病気になるだけで、健康に長寿を全うできるかもしれない。それにしても毎日おいしい空気を吸いたいのだ。

(岡西英孝)

◆お日様を避ける日々

少雪で雪消えと杉の花粉症がいつもより早くから始まりました。今年は症状が重く、マスクやティッシュペーパーの消費量も多く、つらい日が長かったように思います。

また、「初めて花粉症になりました」という人も多くいました。厳しい冬を乗り越えてやっと訪れた春の嬉しさが、花粉症のせいで憂鬱な季節になっています。

最近では、花粉症だけでなく紫外線のアレルギーにも悩まされています。夏だけでなく、冬の雪の照り返しは思っている以上に強烈で、いろいろな方向から襲ってきます。表に出ている顔や腕などのUVカットに気を遣う毎日です。

近年は農作業の手伝いからも足が遠のき、季節の手仕事を楽しむことも少なくなりました。四季の中で一番好きな夏を十分に満喫できなくなつて数年が経ちます。過ごしやすくなり快適な時期が年々短くなっているようで寂しい限りです。

(佐藤良子)

◆挑戦

6月半ば、娘が英語の検定を受けました。少し無謀な挑戦で、どうやって勉強したらよいか何をしたらよいか親子で全く分からず、ひとまず二人で古本屋へ参考書を買うに行くことにしました。安い古本を何冊か買い求め娘へ、と思いましたが、最近私より頑張っている娘。「ここはひとつ、この壁、一緒に乗り越えてみるか!」と、高校を卒業してから触れることのなかった英語の参考書を開いてみました。が、やはり全く理解できず、問題集関係は娘に任せるとして、私は試験会場での流れやポイントなどを読むことにしました。親として恥ずかしいと思いましたが、仕方ありません。ただ、上から勉強しろと言うのが嫌で、母もほんの少し勉強したよとアピ

ールしたただけかもしれません。

結果はどうあれ、今回の検定は自分への挑戦だったのだ、受かるとは思っていませんが、自分なりに努力している姿を見せてくれた気がしました。

(山口加奈子)

◆山本の山頂に立つて

山本山といえば、小千谷の景勝地ですが、久しぶりに立ち寄ってみました。展望台から眺めると、北には蒲原平野の彼方に弥彦山、南には越後三山の勇姿、足下には信濃川が静かに蛇行していました。

小さい頃から春夏秋冬、何度も目にしてきた景色ですが、中越地震の直後、ここから知人と一緒に見た山古志は、いたるところ山肌が崩れ落ち、緑と茶色のまだら模様だったことを思い出しました。元新聞記者だった知人はその後、小生が携わっていた雑誌に、スケッチ画とともに「角栄の故郷で龍が暴れた」という記事を寄せてくれました。

山頂に建つ西脇順三郎の詩碑には、「山あり河あり/暁と夕陽とが/綴れ織る/この美しき野に/しばし遊ぶは/永遠にめぐる/地上に残る/偉大な歴史」と刻まれています。今年は中越地震から12年目です。千支が一回りしたことになりますが、美しい山河を見ながら、矢のように過ぎ去る月日の速さに驚くばかりでした。

(高橋良一)



山本山に建つ西脇順三郎の詩碑

夏のお楽しみ「八海山夢展」

富所白象（希代子）

今月23日より夏の風物詩「八海山夢展」が開催されます。今年で17回目。私は3回展から出品させていただいています。八海山や地元的情景をテーマに作品を制作するのですが、毎回題材に頭を悩ませています。今年の作品は、季節ごとに違った表情を見せてくれる八海山に思いを馳せながら、目下奮闘中です。無事、作品が展示されていますでしょうか。

さて、夢展開催中には「美のツボ」と題しまして、各部門よりさまざまな企画が催されます。書道部門では「うちわにマブリング&書道」を計画しました。皆さん、マブリングってご存じですか？昔、学校でやったことあるという方もいらっしゃると思いますが、カラー液を使った、いわゆる墨流しです。水面に液を垂らし、息を吹きかけると素敵なマブリング模様ができます。それを白いうちわに写しとり、そこに好きな言葉や夏らしい文字を自由に筆で書けば、オリジナルうちわの完成です。

お子様から参加可能ですので、お友達同士、また、ご家族での参加もお待ちしております。（書道部門実行委員）



オリジナルうちわの完成見本

池田記念美術館 展覧会情報

■池山阿有展

◎1階企画展示室 ◎期間：6月10日（金）～7月18日（月・祝）

日展特選2回、光風会常務理事として活躍する見附市在住の画家・池山阿有氏の作品展です。

■〈夏季特別展示〉パリの出逢い—藤田嗣治とヴァシル・ストイロフ—

◎2階海外美術展示室 ◎期間：6月10日（金）～7月18日（月・祝）

異国のパリで出逢い、友情を深め合った二人の画家。ブルガリア出身のストイロフ（1904－90）の叙情豊かな水彩画と藤田嗣治（1886－1968）の「エロスの愉しみ」を展示中です。

■第17回 八海山夢展

◎1階企画展示室、2階日本・海外美術展示室 ◎期間：7月23日（土）～8月30日（火）

地元美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・俳句・工芸の6部門で約120人が出展します。

■夢展「美のツボ」——事前予約が必要ですので、希望者は美術館へお申込みください。

工芸部門 陶芸体験教室——ぐい飲みなどの小物をつくる体験講座

7月30日（土）10：00～12：00 ※参加費1,000円 定員10名

書道部門 うちわにマブリング&書道——自分の書でオリジナルうちわを作しましょう

7月31日（日）10：00～ ※参加費300円 小学生から参加できます

写真部門 初心者写真教室——写真がちょっとうまくなるコツを教えます

7月31日（日）13：00～ ※デジタルカメラをご持参ください

俳句部門 八色の森吟行と句会——八色の森を散策し、俳句を詠む会です

8月2日（火）13：00～

絵画部門 作品鑑賞会——作者による説明会です

8月6日（土）14：00～

■常設展 「日本美術展示室」「小泉八雲展示室」「スポーツ文化展示室」「スポーツカード展示室」 ※八海山夢展の期間中、日本美術展示室は八海山夢展で使用します。

◎イベント情報

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」

7月10日（日）11：30～ 月例音楽会（ピアノ、フルート）

7月24日（日）14：00～ フォークソングの日

年間パスポートが大人気！

料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼントします。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9：00～17：00（入館受付は16：30まで）
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>

【7月の休館日】

※水曜日（6日、13日、20日、27日）
※19日（火）、21日（木）、22日（金）は展示替えのため臨時休館となります。



「池山阿有展」と「パリの出逢い—藤田嗣治とヴァシル・ストイロフ—」は7月18日（月・祝）まで開催中です

